

フォークダンス

石 浜 フ ジ エ

レクリエーション・余暇活動などと古くからいいならされたことばがある。

レクリエーションを活動の種類によってあげてみると、

1. スポーツ
2. 軽スポーツ
3. 舞 踊
4. 野外活動
5. 音楽的なもの
6. 芸術的なもの
7. 文学的なもの
8. 室内遊戯
9. 団体遊戯
10. 年中行事などに付随したもの

等であり、自分で行なって楽しんだり、他人のやることを見て楽しんだり、聞いて楽しんだりする。

フォークダンスは、いつ、どこで、誰が作ったともわからない遠い昔から大衆民族の間に発生し、良いリズムを持っているものは残り、あるものは姿を消し、又改められて民衆から民衆へうけつがれた文化遺産である。

特徴として、

1. 健康的である
2. 大衆的であって男女、貴賤の別なく又年齢を超越して行なえる
3. 国際的で、日本人外国人の別なく、たとえことばが通じなくても同じ踊りを一緒に楽しめる、又外国のフォークダンスをやることにより、その国の風俗、習慣などに接することができる。

このようなフォークダンスは行なうものであって、見るものでも見せるものでもない、又楽しむものであって苦しむものでもなく、みんな一緒に楽しむもので自分1人で楽しむものではない。此のような心掛けを必要とするフォークダンスを通じてわたしたちは次の5つのことを身につけることができる。

1. 社会性、とくに男女間の素直で清らかな交際法
2. 明朗で円満な性格、ユーモア
3. リズム感覚
4. 正しい姿勢と歩き方
5. 若さとはちきれりような健康

かつてフォークダンスが盛んになり出した昭和23年頃、総裁であられる、三笠宮様が或るスクエアダンスパーティの席上、スクエアダンスの三徳として

1. 健全高尚な慰楽を国民に提供している。

戦後大多数の国民が健全な慰楽や趣味に飢えている時、不健全で誘惑的な娯楽が企業的に発達してきたが、これらの危険に対して禁止したり、抑圧するよりも、人間の本性に訴えたい健康的な娯楽を提供することにより、誘惑から遠ざけ明朗で健全な社会を作ることができる。

2. 礼儀や作法が自然のうちに身につく。

戦後特に乱れた礼儀や作法、秩序をとりもどすには、お説教や訓辞などでは決して効果は期待できない。よい雰囲気の中でフォークダンスを行なうことにより、対人的な礼儀や作法、特に男女間のよい躰がよるこびのうちに自然に身につく最もよい方法である。

3. 民主主義精神の具体化である。

民主主義を理論的に説明したり、たえず口にはするが実際化されていない。スクエアダンスの場はあらゆる社会的地位や階級をはなれて、踊る人々の凡てがよきパートナーであり隣人である、一貫した友愛と尊敬に結びつき希望に満ちた明るい社会を作り出す民主主義の苗床である、と話をされた。

ことばは通じなくてもフォークダンスには国境がない、世界中どここの国の人々とでも楽しく手を取りあって踊るを楽しむことができる。その踊り方も1つ2つの基本さえ覚えておけばあとは集った人々の中から出たリーダーのことば1つで結構踊ることができる。その隊形にも円形、対列、自由、又8人1組が方形になって踊るスクエアダンスなど色々に変化に富んでおりその何れもパートナーと手を取りあって、或時は集った全員が大きな輪になって音頭にあわせて日本の民踊を楽しむなど色々変化させることができる。

ここであらためて説明するまでもないが、フォークダンスとは地球上あらゆる国々の踊りの総称であって、隊形によりサークルダンス・スクエアダンス・コントラダンス・フォークダンスなど踊りの種類によって変った呼び方もあるが日本の郷土民踊をも含められているものである。

以上のような教育的価値は古くから認められて、遠くは明治の昔から学校体育にとり入れられて行進遊戯の名のもとに小学校からとり扱われてきた。戦後は行進遊戯からフォークダンスと名称もあらためられて小学校、中学校、高等学校のダンスの中の1要素となっている。幼稚園でもフォークダンスは歌を伴う郷土の遊びとして幼児の間にしたしまれ、先生やおかあさん方と手を取りあって踊られていることはたのもしい限りである。

古い人のいぶきを脈々とつたえるこの踊り、
世界中の人々がほんとうに手を取り合う気持ちになったら
地球をめぐる楽しい輪踊りをおどることができる。

研 究 紀 要

創 刊 号

高 松 短 期 大 学